

ニセコ ニトヌプリ（1080m）

2017年1月21日（土）

CL石井、SL西田、相馬、若林、佐藤、水江

7：00伊達道の駅に西田さん、相馬さん、佐藤さん、水江の4人が集合、相馬さんの車で出発。豊浦から昆布に抜けるルートを走るがニセコは今年も雪が少なく先日室蘭方面に降った大雪の影響はほとんどないようだ。過酷なラッセルを覚悟していたが拍子抜けした。

8：30登山口着。まもなく札幌組も到着。我々が準備をしていると日本人のガイドが率いるオーストラリアから来たというツアーの団体とさらに二人組も到着。

8：57登山開始。除雪されていない道道に沿って少し進み、西田SLが指摘した雪崩斜面を避けながら斜面にとりつく。手前から斜面にとりついたオーストラリア部隊は同じ斜面の上部を歩いている。雪は少ないがパウダーで期待が膨らむ。コ



ンパスを

60度に切り850のポコを目指して浅い沢形を右に見ながら急斜面を登る。40度近くあるように見える。雪も少なくうっすらと残るトレースに沿っているため、そうきつくはないようだとの勝手な判断で熟年5人は先頭を若手ホープの若林さんに頼り、途中交代もなく急斜面を登りきる。下を見ると別の団体が登ってくる。

10:45稜線に上がり、南峰が見える位置まで来たところで風が強いため撤退を決め、風のない浅い沢形部分まで下りてツェルトを張った。

昼頃には駐車場所に戻ってきたが10台以上が列になって駐車しており、ほとんどが外国人でニセコのインバウンド効果に改めてびっくりさせられた。先が半月状にとがっている見たこともないスキーを履いている人もいた。休憩場所までと休憩後の2本の滑降は短いながらシーズン初滑りでそれなりに満足した一日だった。



写真：
相馬、文責：
水江